

日本史Ⅱ

科目ナンバリング JPH-102

【Ⅲ】 選択 2単位

小山 俊樹

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、日露戦争後から第二次世界大戦にいたる近代日本の歴史を題材として、いくつかの問いやテーマを立てて授業を行う。

2. 授業の到達目標

受講生各位が近代日本の歴史に関心をもち、理解を深め、近代(大正～昭和戦前期)の日本史に関する、基本的語句や概略を説明できるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験の成績を重視する。授業の理解度を中心に、総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

木村茂光ほか 大学でまなぶ日本の歴史 吉川弘文館

参考文献

成田龍一 大正デモクラシー(日本近現代史④) 岩波書店

加藤陽子 満州事変から日中戦争へ(日本近現代史⑤) 岩波書店

吉田裕 アジア・太平洋戦争(日本近現代史⑥) 岩波書店

5. 準備学修の内容

授業時間中に言及した人名・用語などを手がかりに、テキスト・参考文献の該当箇所を読み、疑問点があれば確認すること。

6. その他履修上の注意事項

高等学校教科「日本史」の基礎的な知識を前提とするが、初学者にも配慮する。

7. 授業内容

- 【第1回】 講義の概略・説明
- 【第2回】 日露戦後の外交と政治
- 【第3回】 大正政変
- 【第4回】 世界大戦
- 【第5回】 政党内閣
- 【第6回】 大戦後の東アジア
- 【第7回】 震災・恐慌・護憲運動
- 【第8回】 憲政の常道
- 【第9回】 満州事変、五・一五事件
- 【第10回】 国際連盟脱退
- 【第11回】 二・二六事件
- 【第12回】 日中戦争
- 【第13回】 翼賛体制
- 【第14回】 日米開戦
- 【第15回】 講義のまとめ・試験